

和文誌編集委員会査読ガイドライン

2022年12月1日改正

日本看護科学学会
和文誌編集委員会

1. 査読 (peer review)

本学会において査読とは、看護学の学術的発展および看護実践の発展的進化のために、その志を同じくする研究者同士が相互の研鑽を目的として、お互いの研究を吟味評価しあうこととします。

2. 査読の基本方針

- (1) 本誌は、看護学の学術的発展および看護実践の発展的進化に資する学術活動の発表の場として位置付けられます。査読はこの立場から、論文の種類に鑑み、重要性、有用性を重視し、新規性、創造性をふまえて論文の意義を評価します。
- (2) 看護学および看護学研究者の発展を支援する立場から、査読は批判的であるよりも建設的であることを旨とします。課題を指摘する場合には代替案を示し、論文が改善され、投稿者がより成長できるよう支援します。
- (3) 研究方法の使い方や論文の書き方が未熟であっても、看護学としての意義が高く評価できる場合には、なるべく採用の方針で査読を行い、看護学としての意義がなるべく正當に理解・吟味できる論文となるように支援します。
- (4) 看護学の学問領域には、多様な研究パラダイムや研究方法を用いるという特徴があります。査読はあくまでも相互研鑽の機会であることを踏まえ、査読にあたっては、投稿者の立場を尊重し、建設的・発展的にコメントします。
- (5) 査読は客観性、公平性を旨とし、論文の内容が、自身の意見と一致しない、自身の研究と競合する、あるいは相反するなどの理由によって、意見が左右されないように注意します。

3. 査読委員の役割

査読委員の役割は、論文の内容と構成を吟味し、査読基準（下記8.）を用いて評価することとします。査読委員は、投稿論文および投稿者の更なる発展に資することを目的としてこれを行い、査読結果は編集委員に提出されます。ただし、査読委員の役割は編集委員への意見を述べるまでであり、掲載可否の最終決定は編集委員会（編集委員および編集委員長）が行います。

4. 編集委員の役割

編集委員の役割は、論文の内容と構成を吟味し、査読意見をもとに、本誌への掲載可能性について査読基準（下記8.）を用いて以下の基準で査読者に通知します。編集委員は、投稿論文およびその投稿者、さらに査読委員の学術上の発展に資することを目的としてこれを行います。編集委員は査読意見を投稿者にとってわかりやすい形で調整し、調整意見として投稿者に回答します。

【査読通知に関する基準】

- A：採択（このままで採択が可能と考えられる場合）
- B：若干の修正が必要（一部適切に修正されれば最終的に採択が可能と考えられる場合）
- C：大幅な修正が必要（大幅な修正が必要で、それが適切に修正されれば採択が可能と考えられる場合）
- D：掲載不可だが再投稿を薦める（1か月以上を要する大幅な修正が必要であるが、それが適切に修正されれば、採択が可能であり、再投稿を促したい場合）
- E：掲載不可（致命的な欠点が多くあり、どのように修正しても採択は困難と考えられる場合）

5. 編集長の役割

本誌は3名の編集長を置いています。それぞれの編集長の役割は、担当する論文の内容と構成を吟味し、査読意見および調整意見をもとに、本誌への掲載可否について最終決定することとします。編集長は、投稿者、査読委員、編集委員および本学会の学術上の発展に資することを目的として、これを行います。編集委員がA採択、あるいはD掲載不可だが再投稿を勧める、E掲載不可の判断をした際に、編集長は査読意見及び調整意見を受け、編集委員の評価を確認します。D掲載不可だが再投稿を勧める、E掲載不可の場合は、投稿者がその理由を正確に把握できるように、査読意見・調整意見の内容を確認し、必要に応じて加筆修正を行って投稿者に回答します。

6. 編集委員長長の役割

編集委員長は編集委員会の編集委員会のとりまとめを行います。また、投稿された論文に対して、担当する編集長を割り当てます。編集委員長は編集長を兼ねることがあります。

7. 査読システム

- (1) 編集委員長は、投稿された論文に関し、適切と思われる編集長に担当を依頼します。
- (2) 編集長は、担当する論文に関し、適切と思われる編集委員に担当を依頼します。
- (3) 編集委員は、総説・原著論文・資料の投稿に対しては、査読委員の中から適切と思われる委員2名に査読を依頼します。その他は編集委員が査読を行います。必要に応じて査読委員に査読を依頼する場合があります。
- (4) 査読依頼を受けた委員は、3日以内に諾否の応答をします。査読の諾否は、以下のような条件を勘案して検討します：①内容から見て適切な査読が可能か、②委員が当該論文に直接関係していないか、③研究トピックが自身の研究と競合していないか、④2週間以内に査読が可能か。ただし、④に関し、査読委員は、編集委員の求めに応じ最低年に3編は査読を担当することを役割としていることに留意します。
- (5) 査読は2週間以内に終了し、査読意見を提出します。突発的な事故などで、いったん引き受けた査読を期限内に終了できない事由が発生した場合には、速やかに編集事務局に知らせ、対応策を協議します。
- (6) 査読意見を受け取った編集委員は、1週間以内に調整を終了し、調整意見を提出します。

- (7) 編集委員が掲載可または掲載不可と判定した論文は編集長が内容を把握し、1週間以内に掲載可否を最終決定します。

8. 査読基準

査読は、以下の項目について、論文の種別に応じて行い、優れた点と課題の両方を指摘します。必要に応じて論文の種別の変更を著者に提案します。

【総説・原著論文・短報の査読基準】

- (1) 看護学として意義ある内容か
 - (ア) 看護学としての重要な知見を有しているか（重要性）
 - (イ) 看護実践を改善・進展させるために有用か（有用性）
 - (ウ) 上記に加えて、新規性や創造性も加味して評価します。
- (2) 研究の厳密性は保たれているか
 - (ア) 研究目的は明確か
 - (イ) 目的に沿った研究方法が用いられているか
 - (ウ) 分析方法は適切に用いられているか
 - (エ) 結果に基づき十分・的確に考察されているか
- (3) 論文の構成は適切か
 - (ア) 研究の全容が明確かつ適切に示されているか（題名・抄録・本文・文献・図表・付録含め）
 - (イ) 全体の構成や文章は論理的で矛盾がないか・論旨は一貫しているか
 - (ウ) 関連する文献を適切に引用しているか
- (4) 倫理的な問題はないか

【資料・その他の査読基準】

- (1) 看護学として意義ある内容か
 - (ア) 看護実践を改善・進展させるために有用か（有用性）
- (2) 論文の構成は適切か
 - (ア) 研究の全容が明確かつ適切に示されているか（題名・抄録・本文・文献・図表・付録含め）
 - (イ) 全体の構成や文章は論理的で矛盾がないか・論旨は一貫しているか
- (3) 倫理的な問題はないか

9. 多重投稿，重複投稿の禁止

本誌では、投稿論文が国の内外を問わず他の学術雑誌に投稿中または既に採択された論文と内容が同一の論文は、受け付けません。査読の過程でその可能性に気づいた場合は、編集委員会に速やかに連絡してください。

10. 査読の方法

- (1) 査読方針を踏まえて、オンライン投稿・査読システムにより、査読を進めて下さい。

- (2) 査読基準の各項目に関しご検討ください。その上で、A 採択、B 若干の修正が必要、C 大幅な修正が必要、D 掲載不可だが再投稿を薦める（取り扱いとしては掲載不可と同様）、E 掲載不可で判定をしてください。ただし、最終決定は編集委員会（編集委員および編集委員長）が行います。
- (3) 査読意見は投稿規程、査読ガイドラインを踏まえて、査読システムに入力してください。投稿者が論文を改善する上で役立つ具体的な提案をお書きください。掲載可否の最終決定は編集委員会が行いますので、査読意見の中では可否について言及しないようにご注意ください。
- (4) データが不足していて調査・実験の追加が必要な論文は、なるべく1回目の査読で「D：掲載不可だが再投稿を薦める、またはE：掲載不可」の判断をしてください。
- (5) 原則として、第1回の査読で問題点を全て指摘し、2回目以降は新たな問題点の指摘は行わないようにしてください。
- (6) コメントを「メジャーコメント」「マイナーコメント」に分けることができる場合にはそのようにしていただくと、編集委員や投稿者にとっての判断や修正の助けになると思われます。
 - (ア) Major な指摘事項：結論を変える可能性がある本質的な変更が必要な指摘
 - (イ) Minor な指摘事項：必要な情報の追加や表現の変更が必要な指摘
- (7) 論文は科学的に意味が読者に誤解なく伝わるのが最も大切と考えております。細かな日本語の表現の巧拙はあまり重視しなくて構いません。
- (8) 原則として1回目の査読で掲載不可と判定された方にも、編集委員の判断で修正投稿としたものの2回目の査読の依頼をすることがあります。その際はお断りいただいても構いません。
- (9) 内容から投稿者が推定できる場合にも、投稿者やその指導者への連絡は行わないでください。必要な場合には編集委員会に連絡してください。
- (10) 論文の内容（データやアイデア、題名も含む）については、原稿に含まれる情報の所有権を尊重し外部に漏らさないで下さい。また、査読したことや審査の結果についても同様です。

以上